平成29年度西牟婁地方公立小·中学校教頭研修会、第7回きのくにコミュニティスクールの推進に係る研修会(西牟婁会場)

- 1 日時・会場 平成30年2月20日 (火) 13:30~16:30 上富田文化会館
- 2 参加者 小・中・高等学校・特別支援学校教頭 市町村教育委員会きのくにコミュニティスクール担当者等 合計74名
- **3** 内 容 ※本研修会全日程のうち、コミュニティ・スクールに関する研修内容の部分について記載しています。

◆実践発表

「有田市のコミュニティ・スクールの取組について」

有田市教育委員会 教育総務課 指導主事 中西 朋子 氏 有田市コミュニティ・スクール推進員 垣内 淳 氏

- ○有田市の学校教育
 - ・コミュニティ・スクールを生かした学校づくり
- ○コミュニティ・スクール導入に向けて
 - ・地域に開かれた学校から「地域とともにある学校」へ と変換し、社会総がかりでの教育の実現を目指す
 - ・既存の組織(学校関係評価委員会、学校評議員制度、学校サポート委員会)を学校運営協議会に一本化する
 - ・これまでの「学校評価」の取組を生かし、さらに充実させる
- ○学校運営協議会とコミュニティ・スクール連絡協議会
 - ・学校運営協議会の役割と構成について
 - ・各学校運営協議会の会長が出席する「有田市コミュニティ・スクール連絡協議会」 を開催
- ○今後の方向性と展望
 - ・コミュニティ·スクール推進員(CSディレクター)の活用と組織体制の構築
 - ・先進校やお互いの実践を交流する研修会等の開催
 - ・コミュニティ・スクールについて教員、保護者、地域住民等が理解を深める機会の 確保

◆実践発表

「有田市立宮原小学校の学校運営協議会の働きと役割 ~コミュニティ・スクールがスタートして~」

 有田市立宮原小学校
 校長
 下田喜久恵
 氏

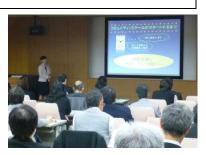
 有田市立宮原小学校学校運営協議会
 副会長生駒正剛氏

 同副会長宮本朋子氏

- ○学校運営協議会設置に向けて前年度末の準備
 - 学校運営協議会委員の推薦
- ○今年度の学校運営協議会の取組について
 - ・第1回学校運営協議会の開催に向けて 有田市学校運営協議会規則と名札を同封し、会長名 で開催案内を発送

役員会を持ち、役割分担や今後の会議の見通しなど 事前打ち合わせを行う

・第1回学校運営協議会の内容 有田市学校運営協議会規則についての説明



学校運営に関する基本的な方針の説明と承認 情報交流、意見交換

- ・学校運営協議会についての周知 家庭・地域に・・・ブログ、学校通信、学校説明会 学校職員に・・・随時会議で伝達、協議の記録(ホワイトボード)を掲示
- ・きのくにコミュニティスクールの推進に係る研修会への委員の出席
- ・学校運営協議会が目指す働き、役割 「学校が開く」だけでなく「地域が学校に関心をもち支援する」形へサポートする
- ・成果と課題

具体的な取組へと発展・・・ふれあい農場の開墾→地域住民の元気に 共育ミニ集会の主催→つながり構築へ など 良好な関係を築きながら、会長・校長が広い視野を持ち、うまく舵取りをして育 てるような気持ちで

◆協議・情報交流

「各学校におけるきのくにコミュニティスクールの推進状況について」

- ・来年度からスタートできるよう、現在、学校運営協議会委員の選定をしている。
- ・小・中合同で1つの学校運営協議会なので、相談しながら準備を進めている。
- ・地域人材が限られているので、委員の選出やボランティアの確保がなかなか難しい。

4 参加者の声(アンケートより)

- ・学校運営協議会の立ち上げからこの1年の流れを具体的に聞くことができ、コミュニティ・スクールのイメージを持てた。発表資料の写真を見ると、たくさんの笑顔があ ふれていた。学校にとっても地域にとっても、あって良かった、なくてはならないという学校運営協議会にしたい。
- ・委員の人選について、学校はどういう教育をしたいのか、それを推進していただける 方に入ってもらうのがよい、という意見が大変参考になった。学校運営協議会と校長 の立場の在り方について、とても分かりやすく納得できた。
- ・子供をしっかりと育て、地域の活性化に少しでも貢献できるようなコミュニティ・スクールを目指してがんばりたい。
- ・学校運営協議会の機能がよく理解できた。発表にもあったが、「うまく舵取りをする」 ことに力を尽くしたいと思う。お話を伺って、この制度の価値がよく分かった。
- ・「宮原ウォークラリー」の活動が興味深かった。地域の子供は地域で育てるという思いがよく感じられる取組だと思った。
- あらためて学校運営協議会の委員の人選が大切だと思った。併せて、学校職員には、 学校を開くという意識を持たせる難しさも感じている。
- ・勤務している学校では地域とのつながりが強いので、コミュニティは今に始まったことではなく、ずっと続いているので、この形をどう整理して発展させていくのか、相談して進めていきたいと思う。
- ・お話の中にあった「地域の人と共に地域の課題を解消できるよう、小さなことから始めてみてはいかがですか」という言葉に勇気づけられた。
- ・コミュニティ・スクール導入に当たっての基本的な流れやポイントについてのヒントをいただいた。安心安全で心豊かな子供を育むためにも、地域と目標を共有し、取り組むことが大切だと感じた。今回、学校運営協議会の委員さんの生の声を聞かせていただけたことも、具体策の導入に向けて大変参考になった。